

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,134	3.0	802	353.9	876	221.4	576	421.8
2023年3月期第1四半期	7,897	49.5	176	—	272	—	110	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,503百万円(49.3%) 2023年3月期第1四半期 1,006百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	21.50	21.45
2023年3月期第1四半期	4.12	4.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	41,787	32,378	77.3	1,204.87
2023年3月期	40,212	31,384	77.9	1,167.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 32,299百万円 2023年3月期 31,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	19.00	31.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	15.00	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,600	△4.3	1,550	81.7	1,610	62.2	1,270	54.7	47.38
通期	34,800	△1.3	3,450	14.7	3,540	10.3	2,700	△1.4	100.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	28,392,000株	2023年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,584,643株	2023年3月期	1,584,469株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	26,807,444株	2023年3月期1Q	26,806,493株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うインバウンド需要の回復などにより、緩やかな回復の動きが見られました。一方、原材料やエネルギー価格の高止まりや労働コストの上昇に加え、外国為替市場では円安基調が継続しており、経営を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続きました。海外経済におきましては、米国では高金利水準の維持やインフレの影響が懸念されましたが、雇用環境の安定を背景に、総じて景気は底堅く推移しました。一方、欧州ではロシアによるウクライナ侵攻長期化の影響や急激なインフレに対応した金融引き締めにより景気後退が顕在化してきており、中国では「ゼロコロナ」政策解除による景気押し上げ効果はありましたが、政策不透明感から企業の設備投資は慎重な状況が続きました。

当社グループが主要市場とする食品業界は、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続き、実質賃金の減少による消費者の節約志向の高まり等から、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。そのような中、スーパー・コンビニ業界では、他社との差別化を図る商品開発や一層の省人化を目指した設備投資案件が引き続き堅調に推移しました。観光業界では、入国制限緩和以降の外国人観光客の増加により需要回復の動きが見られ、それに合わせて設備投資案件も回復してきました。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。その中で、5ヶ年（2023年度～2027年度）の新中期経営計画を策定し、①成長基盤の強化、②利益基盤の強化、③経営基盤の強化に取り組み、新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻を機に顕在化した社会課題を解決し、更なる企業成長のための足場固めを行う取り組みをスタートしました。

米国の食品製造事業では、原材料価格や荷造運賃等の高騰に対応した販売価格の改定や仕入先・運送業務委託先の見直しを行い、工場操業度の向上による生産性向上に努めた結果、黒字確保に転じました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,134百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は802百万円（前年同四半期比353.9%増）、経常利益は876百万円（前年同四半期比221.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は576百万円（前年同四半期比421.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

## 食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,391百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は735百万円（前年同四半期比54.8%増）となりました。

## 食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比27.2%増加となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが129円57銭から137円36銭と6.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は922百万円（前年同四半期比34.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は98百万円（前年同四半期はセグメント利益6百万円）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比36.5%減少となりました。

主な要因は、欧州圏での原材料費、光熱費などの急激なインフレによる投資控えなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが138円12銭から149円47銭と8.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は605百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

セグメント損失（営業損失）は展示会への出展など販売費及び一般管理費が増加したことにより21百万円（前年同四半期はセグメント利益112百万円）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響などがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は426百万円（前年同四半期比52.3%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は展示会への出展など販売費及び一般管理費が増加したことにより96百万円（前年同四半期比63.9%減）となりました。

#### 食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比16.9%増加となりました。

主な要因は、新規顧客の獲得や昨年度に行った販売価格の見直しなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが129円57銭から137円36銭と6.0%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,671百万円（前年同四半期比23.9%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は430百万円（前年同四半期はセグメント損失112百万円）となりました。

#### 食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は117百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は材料費の高騰など売上原価が増加したことにより、4百万円（前年同四半期比57.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,110百万円増加し、23,774百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が112百万円増加、商品及び製品が768百万円増加、仕掛品が392百万円増加、原材料及び貯蔵品が126百万円増加、現金及び預金が259百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて464百万円増加し、18,013百万円となりました。これは、前連結会計年度末と比較し、円換算に使用するUSドルの期末日レートが133円53銭から144円99銭、ユーロの期末日レートが145円72銭から157円60銭と大きく円安に推移したため、有形固定資産が402百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,574百万円増加し、41,787百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて626百万円増加し、7,575百万円となりました。これは、未払費用が727百万円増加、前受金が557百万円増加、短期借入金が325百万円減少、賞与引当金が387百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて45百万円減少し、1,833百万円となりました。これは、長期借入金が76百万円減少、繰延税金負債が29百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて581百万円増加し、9,408百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて993百万円増加し、32,378百万円となりました。これは、利益剰余金が67百万円増加、その他有価証券評価差額金が91百万円増加、為替換算調整勘定が831百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2023年5月22日発表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,440,477	11,181,046
受取手形及び売掛金	3,234,012	3,346,366
商品及び製品	5,339,139	6,107,539
仕掛品	1,632,710	2,024,824
原材料及び貯蔵品	401,263	527,556
その他	637,868	615,850
貸倒引当金	△21,490	△28,972
流動資産合計	22,663,980	23,774,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,073,737	16,597,423
減価償却累計額	△8,720,808	△9,101,001
建物及び構築物（純額）	7,352,928	7,496,422
機械装置及び運搬具	9,366,488	9,955,797
減価償却累計額	△7,855,260	△8,422,243
機械装置及び運搬具（純額）	1,511,228	1,533,554
工具、器具及び備品	2,031,752	2,085,094
減価償却累計額	△1,874,688	△1,914,709
工具、器具及び備品（純額）	157,064	170,385
土地	3,976,623	4,048,828
リース資産	8,741	11,627
減価償却累計額	△2,331	△2,964
リース資産（純額）	6,410	8,662
建設仮勘定	482,361	630,798
有形固定資産合計	13,486,616	13,888,651
無形固定資産	1,176,670	1,188,014
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,474	1,372,435
退職給付に係る資産	1,350,370	1,363,186
その他	297,672	205,415
貸倒引当金	△4,109	△4,537
投資その他の資産合計	2,885,407	2,936,500
固定資産合計	17,548,694	18,013,166
資産合計	40,212,675	41,787,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,195,475	1,400,929
短期借入金	794,722	469,722
リース債務	1,999	2,667
未払費用	610,501	1,337,697
未払法人税等	381,540	333,607
前受金	2,295,474	2,852,969
賞与引当金	762,834	374,928
役員賞与引当金	16,800	5,800
未払金	683,952	677,038
その他	205,561	119,729
流動負債合計	6,948,863	7,575,090
固定負債		
長期借入金	1,138,204	1,062,023
リース債務	5,051	6,864
繰延税金負債	341,304	370,543
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,294	36,321
その他	11,158	11,064
固定負債合計	1,879,023	1,833,827
負債合計	8,827,886	9,408,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,078,397	7,078,397
利益剰余金	17,780,924	17,848,055
自己株式	△770,280	△770,520
株主資本合計	31,440,791	31,507,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544,701	636,124
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	943,612	1,774,846
退職給付に係る調整累計額	69,528	73,652
その他の包括利益累計額合計	△134,974	791,806
新株予約権	78,971	78,971
純資産合計	31,384,788	32,378,460
負債純資産合計	40,212,675	41,787,379



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	7,897,934	8,134,881
売上原価	4,928,285	4,427,746
売上総利益	2,969,648	3,707,134
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	82,779	119,900
荷造運搬費	520,536	374,423
貸倒引当金繰入額	△7,630	3,775
販売手数料	181,417	205,078
給料及び手当	724,015	760,386
賞与引当金繰入額	179,299	213,333
役員賞与引当金繰入額	4,200	5,800
退職給付費用	37,478	39,263
旅費及び交通費	96,225	116,770
減価償却費	131,951	132,304
研究開発費	175,417	176,490
その他	667,233	757,463
販売費及び一般管理費合計	2,792,924	2,904,990
営業利益	176,724	802,144
営業外収益		
受取利息	1,341	1,300
受取配当金	11,776	15,175
物品売却益	5,683	3,692
為替差益	66,281	21,681
保険解約返戻金	—	2,210
電力販売収益	6,719	5,983
その他	15,072	30,161
営業外収益合計	106,874	80,206
営業外費用		
支払利息	3,065	2,736
電力販売費用	2,182	2,035
その他	5,603	1,069
営業外費用合計	10,851	5,841
経常利益	272,747	876,509
税金等調整前四半期純利益	272,747	876,509
法人税、住民税及び事業税	134,024	244,703
法人税等調整額	28,250	55,331
法人税等合計	162,275	300,035
四半期純利益	110,472	576,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,472	576,474

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	110,472	576,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,526	91,422
為替換算調整勘定	826,738	831,234
退職給付に係る調整額	22,186	4,123
その他の包括利益合計	896,451	926,781
四半期包括利益	1,006,924	1,503,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,006,924	1,503,255

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、経済活動は正常化に向かい感染症の影響は徐々に収束していくことが想定されますが、収束時期や影響範囲に関しては依然として不透明な状況にあります。

当社グループでは、感染症の影響は今後も一定期間続くものの徐々に改善していくとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、この仮定は不確実性を伴うため、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,353,024	684,229	880,713	895,199	4,813,166
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,128,306	104,674	—	—	1,232,981
計	3,481,331	788,903	880,713	895,199	6,046,147
セグメント利益又は損失(△)	475,267	6,291	112,248	267,192	860,999

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	2,963,350	121,417	3,084,768	7,897,934
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	1,233,009
計	2,963,350	121,445	3,084,796	9,130,943
セグメント利益又は損失(△)	△112,725	10,962	△101,762	759,236

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	759,236
セグメント間取引消去	△74,415
本社一般管理費(注)	△508,096
四半期連結損益計算書の営業利益	176,724

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,391,378	922,488	605,109	426,897	4,345,873
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,313,446	13,460	—	—	1,326,906
計	3,704,824	935,949	605,109	426,897	5,672,780
セグメント利益又は損失(△)	735,841	98,607	△21,385	96,572	909,636

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,671,787	117,219	3,789,007	8,134,881
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,326,906
計	3,671,787	117,219	3,789,007	9,461,788
セグメント利益又は損失(△)	430,271	4,678	434,949	1,344,585

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、オランダ
- (3) アジア……………台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,344,585
セグメント間取引消去	△30,845
本社一般管理費（注）	△511,595
四半期連結損益計算書の営業利益	802,144

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	1,545,170	-	1,545,170
製パンライン等	2,024,295	-	2,024,295
修理その他	1,124,035	-	1,124,035
仕入商品	107,470	-	107,470
その他	12,196	-	12,196
食品等	-	3,084,768	3,084,768
顧客との契約から生じる収益	4,813,166	3,084,768	7,897,934
外部顧客への売上高	4,813,166	3,084,768	7,897,934

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	1,424,559	-	1,424,559
製パンライン等	1,419,240	-	1,419,240
修理その他	1,354,304	-	1,354,304
仕入商品	132,895	-	132,895
その他	14,875	-	14,875
食品等	-	3,789,007	3,789,007
顧客との契約から生じる収益	4,345,873	3,789,007	8,134,881
外部顧客への売上高	4,345,873	3,789,007	8,134,881

(重要な後発事象)

該当事項はありません。